

## 国の動き

- 令和2年10月 菅首相が「2050年までに温室効果ガス排出量を全体としてゼロにする」ことを宣言  
（**2050年カーボンニュートラル宣言**）
  - 令和3年 4月 気候変動サミットにおいて、2030年度時点の温室効果ガス排出削減目標を「**2013年度比で46%削減**」とこれまでの目標（26%削減）を大幅に引き上げる方針を表明
  - 令和3年 5月 **改正地球温暖化対策推進法**が成立
  - 令和3年 6月 「経済と環境の好循環」をつくる産業政策として、「**2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略**」が策定
- （今後）
- 令和3年11月開催予定のCOP26（国連気候変動枠組条約締約国会議）までに、**地球温暖化対策計画等の見直し**

# 本県の状況

## ■ 山口県地球温暖化対策実行計画（第2次計画）

地球温暖化対策の推進に関する法律、気候変動適応法に基づき、地球温暖化対策に係る取組の一層の推進を図るため、令和3年3月に策定

[計画期間] **2021(R3)年度～2030(R12)年度** [基準年度] 2013(H25)年度

[削減目標] 2030年度における温室効果ガス排出量を**2013年度比17.8%削減**（国のこれまでの削減目標等を踏まえ設定）

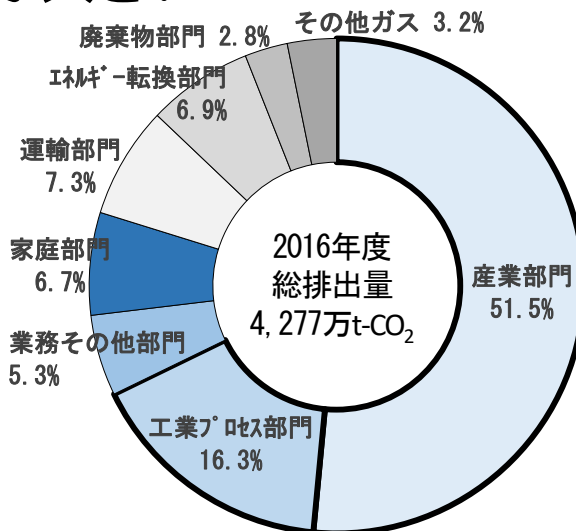
## ■ 本県の温室効果ガス排出量・吸収量の特性や課題

- ・ 2016年度における本県の温室効果ガス排出量は**4,277万t-CO<sub>2</sub>**
- ・ 特に、産業部門・工業プロセス部門(セメント製造業等)の温室効果ガス排出割合が大きい

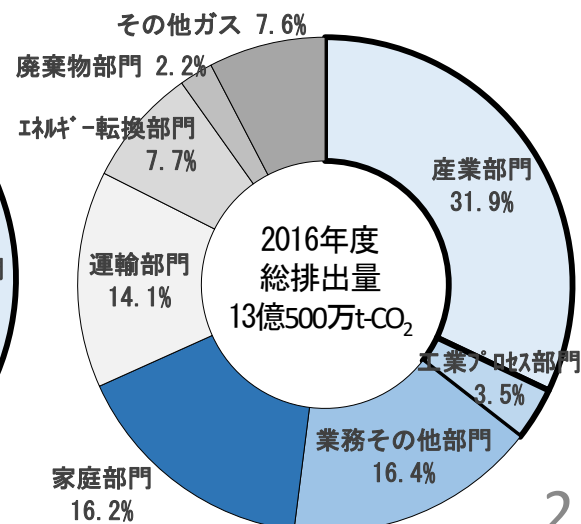
※2016年度実績

山口県 **約68%**  
> 全国 **約35%**

- ・ 一方、森林整備等による温室効果ガス吸収量は**89万トン**と推計



山口県の部門別排出構成



全国の部門別排出構成